

太陽光パネル用掴み金具の新製品発売

動力は2025年8月に太陽光パネル用の掴み金具の新製品を発売した。住宅屋根にも使用できるよう改良するなどして設置対象の屋根を拡げたほか、施工性を高めた。

同社は24年9月よりハゼ式折板屋根用の取付金具を販売してきた。ボルト1本で太陽光パネルと屋根を固定できるようにしたう

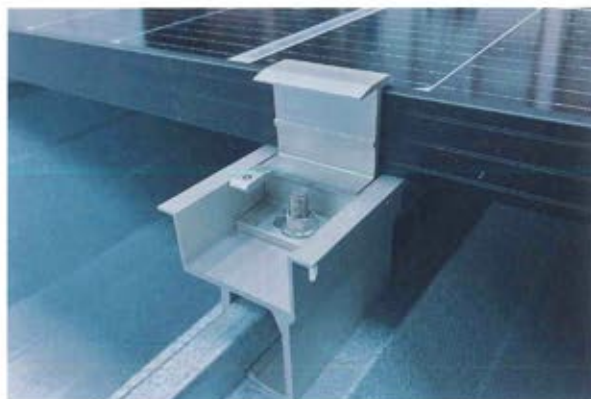
え、設置と同時にパネル間でアースをとれる仕組みにして施工性を高めた。新商品では、勘合立平葺屋根にも対応させたほか、オプション品のUT金具を使えば、アレイの途中から太陽光パネルを取り外せるようにした。急なレイアウト変更にも対応できるようにしたのだ。

同製品を使用した場合のパネ

ル間の間隔は5mm程度になるため、同社によれば10段のアレイの場合、押さえ金具で設置した

場合に比べて約30～40cm分、省スペース化ができるという。

商品名は「SMAC AL Z」。



勘合立平葺にも対応し、住宅への設置が可能になった

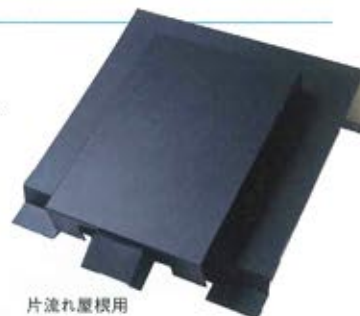
住宅用太陽光ケーブル入線材の発売

建築資材メーカーのトーコー（奈良県生駒市、西田敏典社長）は、住宅用太陽光発電設備のケーブル入線材の新商品を2025年9月1日に発売した。複

数のケーブルをまとめやすくしたほか、片流れ屋根対応品を追加。施工性の向上にも配慮し、施工会社やハウスメーカーへ提案していく構えだ。

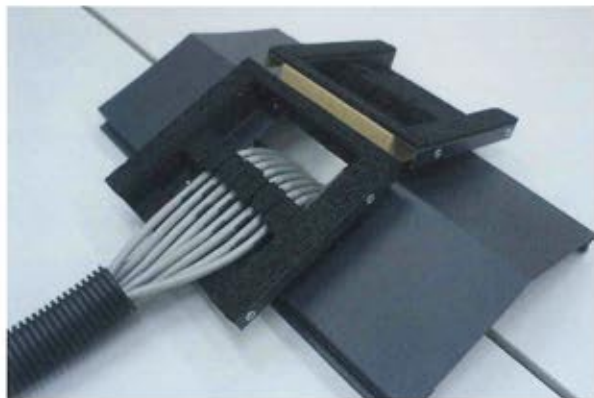
同社は、住宅の小屋裏を換気する棟換気製品とともに住宅用太陽光発電設備用の入線ユニットを販売してきた。棟部から小屋裏に屋内配線が入線するためのものでこれを使えば、壁の施工を待たずに屋根の施工後の入線が可能になる。

新たに片流れ屋根用の製品



片流れ屋根用

を2種類追加したほか、複数ケーブルを並列に入線できる『マルチチューブホルダー』を全ての製品に採用。またケーブルを保護するPF管の幅を広げ、施工性を高めた。



PF管の対応幅が28mmまで拡大した